**令和６年度和歌山県文化表彰推薦募集要項**

１．趣旨

　　 文化の向上発展に特に顕著な功績のある個人や団体を表彰することにより、和歌山　　県の芸術文化の振興を図ることを目的とします。

２．表彰の種類

 文化表彰には下記の３種類の賞があります。

 (1) 文化賞

 文化分野で国際的又は全国的に権威のある賞を受けるとともに継続的に高水　　　　　準の活動を続けるなど、その功績が顕著で、和歌山県の誇りに値すると認めら　　　　　れる個人又は団体を讃えるものです。

　　 (2) 文化功労賞

 長年にわたり和歌山県の文化活動の普及・発展・充実に貢献し、地域の活　　　　　　性化や地域文化の向上に寄与したもの、もしくは長年にわたり文化分野で国際的又は全国的に優れた活動を重ね文化の向上発展に寄与した個人又は団体を讃えるものです。

 (3) 文化奨励賞

 　 文化分野で国際的又は全国的な大会等で優秀な成績を収めたもの、もしくは　　　　　和歌山県の文化活動の普及・発展・充実に貢献したもので、将来一層の活躍が　　　　　期待できる個人又は団体を讃えるものです。

　　　　　　平成20年度に「きのくに芸術新人賞」及び「きのくに技能奨励賞」と統合した賞です。

３．表彰の対象者

 表彰の対象者となるのは下記のいずれかに該当する方です。

 　　 (1) 和歌山県出身者（和歌山県の学校出身者を含みます。）

 (2) 和歌山県在住者（和歌山県に在住していた者を含みます。）

　 (3) 和歌山県を拠点として活動を行っている個人又は団体

　 (4) 上記（１）～（３）にはあてはまらないが、特に和歌山県の文化振興に寄与し　　　　　ている個人又は団体

　　　※　なお、個人の場合、生存者を原則としますが、死亡後概ね１年未満の場合は

　　 　対象とします。

４．表彰の対象分野

 表彰の対象となる分野は下記のとおりです。

 (1)　芸術（文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他の芸術）

 (2)　メディア芸術（映画、漫画、アニメーション、コンピュータその他の電子機

器等を利用した芸術）

 (3) 伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎その他のわが国古来の伝統的な芸能）

 　(4)　芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能）

 (5)　生活文化（茶道、華道、書道、服飾、食文化、デザインその他の生活文化） (6)　学術（人文科学、社会科学、自然科学その他の学術） (7) 伝統工芸品（生活用品を含む）

 (8) その他（囲碁，将棋、国際交流等）

５．表彰の方法

 知事表彰状、徽章（メダル）及び副賞を贈呈します。表彰式は令和６年11月～令和７年１月頃の予定です。

６．推薦者

　　　文化表彰選考委員会及び名匠表彰選考委員会の現委員を除く個人又は団体としま　　　す。ただし、自薦はできません。

 また、推薦できる人数は各賞１名（団体）に限ります。

なお、推薦にあたっては、できる限り候補者、候補団体の了承を得てください。

７．留意事項

　　　被推薦者が推薦を受けた賞以外の賞にふさわしいと選考委員会が判断した場合は、その賞の受賞候補者とします。

８．選考結果通知

 すべての推薦者に対して選考結果を通知します。

９．個人情報保護

　　　提出書類に記載された個人情報については、和歌山県文化表彰に係る事務の目的　　以外には使用いたしません。

10．推薦手続

 (1) 推薦時期

 令和６年４月19日（金）～６月28日（金）消印有効

(2) 提出書類

 ①　推薦書（個人は別記様式１、団体は別記様式２）

1. 会員名簿及び規約（団体のみ）
2. 関係資料（公演等プログラム、パンフレット、著書、CD、ビデオ、作品の　　　　　　　　　　　図録や写真等で、推薦書記載の業績内容を示すものに限ります。）
	* ①の書類については、和歌山県のホームページからダウンロードできます。また、記載にあたっては必ず記載要領を参照してください。

（ダウンロード用URL）https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022100/hyosho/hyoshoyoko.html

※ ③の関係資料については、目録（様式任意）を作成の上、それぞれ１点提出ください（最大５点まで）。審査終了後、返却させていただく予定です。

 (3) 提出先（問合せも同じ）

 和歌山県企画部企画政策局文化学術課

〒640-8585　　和歌山市小松原通１－１

 TEL　073-441-2050　　FAX　073-436-7767

11．近年の受賞者

　　　令和５年度

文　化　賞　松　谷　武　判（現代美術家）

　　　　文化功労賞　松　山　　　馨（歌人）

　　　　文化奨励賞　川　島　ケイジ（シンガーソングライター）

　　　　文化奨励賞　木ノ下　裕　一（補綴家、ドラマトゥルク）

文化奨励賞　紀州の民話をオペラに実行委員会（アマチュア音楽劇団）

　　　令和４年度

文　化　賞　武　内　和　彦（環境学者）

　　　　文化功労賞　T O N P E I（歌手）

　　　　文化功労賞　宮　澤　敏　夫（音楽家）

　　　　文化功労賞　宮　西　照　夫（医学者）

　　　　文化奨励賞　岩　田　直　樹（グラフィックデザイナー）

文化奨励賞　寺　下　真理子（ヴァイオリン奏者）

文化奨励賞　冷　水　乃栄流（作曲家）

　　　令和３年度

文　化　賞　久保田　弘　敏（航空宇宙工学者）

　　　　文化功労賞　多　田　佳　子（声楽家）

　　　　文化功労賞　半　田　美　永（国文学者）

　　　　文化奨励賞　伊　藤　　　彩（現代美術家）

文化奨励賞　松　井　俊　介（能楽師）

文化奨励賞　吉　本　英　樹（デザインエンジニア）